

## 障害者雇用創出・就労啓発事業での地域ネットワーク形成に関する協働契約

障害者雇用創出・就労啓発事業での地域ネットワーク形成に関する協働契約について、公募型プロポーザル方式で受託者選定を実施した結果、受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名 障害者雇用創出・就労啓発事業での地域ネットワーク形成に関する協働契約
- 2 業務内容 障害者の雇用及び就労啓発を目的としたショップを新市庁舎及びJR関内駅北口高架下に設置するにあたり、近接エリアに位置する2つのショップの連携を図りながら、地域で活動している市民、事業者、団体等を有機的につなげる地域ネットワークを形成し、共生社会の実現に寄与する活動を持続的に行える仕組みづくりを、協働契約により行うこととする。
- (1) 関内及び新市庁舎ショップの連携方法の検討
  - (2) 新市庁舎ショップの公募内容の検討
  - (3) 地域ネットワークの形成
  - (4) ネットワークを活かした活動の企画及び情報発信
  - (5) 持続可能な仕組みづくり
- 3 契約の相手方 特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター
- 4 契約金額 1,953,072 円
- 5 契約日 平成30年12月28日

6 評価結果 次表のとおり

提案者	評価点数	順位
特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター	292	1
関内イノベーションイニシアティブ株式会社	287	2
ルーデンス株式会社	212	

7 評価基準・評価委員会開催経過等

- (1) 評価基準 別紙1のとおり
- (2) 評価委員会開催経過 別紙2のとおり

- 8 問い合わせ先 健康福祉局障害企画課就労支援係  
電話:045-671-3992/FAX:045-671-3566

審査項目	評価内容	配点	配点内訳	比重	採点結果
<b>1 法人基本事項に関すること</b>					
1.1 法人の業務経歴	過去5年間の同種又は類似業務の実績	5点	5点	×1.0	
		<b>5点</b>	<b>5点</b>		
<b>2 業務実施体制及び予定従事者の業務実施能力に関すること</b>					
2.1 管理者	管理者として本業務を遂行できるか(分担内容、手持ち業務の件数は適当か)	10点	5点	×1.0	
	過去5年間の同種又は類似業務の実績		5点	×1.0	
2.2 調査員	調査員として本業務を遂行できるか(分担内容、手持ち業務の件数は適当か)	10点	5点	×1.0	
	過去5年間の同種又は類似業務の実績		5点	×1.0	
		<b>20点</b>	<b>20点</b>		
<b>3 提案内容に関すること</b>					
3.1 全体	本業務の目的を理解しているか	65点	5点	×1.0	
	本業務を実施する意欲があるか		5点	×1.0	
	協働事業の実施にあたって中間支援機関としての業務に対する理解度、専門的視点があるか		5点	×1.0	
	提案内容に独創性や十分な工夫はあるか		5点	×1.0	
	3か年のスケジュールが具体的であり、実行可能なものであるか		5点	×1.0	
3.2 2つのショップの連携	繋がりを感じられるものであり、実現性の高いものであるか		10点	×2.0	
3.3 新市庁舎ショップの公募内容の検討	新市庁舎整備計画との融和性が図られ、目的に合致した内容であるか		10点	×2.0	
3.4 地域ネットワークの形成	地域の多様な主体を巻き込んだネットワークであり、実現性の高いものであるか		10点	×2.0	
3.5 持続可能な仕組みづくり	内容が具体的であり、実現性の高いものであるか		10点	×2.0	
		<b>65点</b>	<b>65点</b>		
<b>4 法人としての取組に関すること</b>					
4.1 一般事業主行動計画の策定	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、労働局に届け出ている	1点	1点	×1.0	
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画を策定し、労働局に届け出ている	1点	1点	×1.0	
4.2 くるみんマーク、プラチナくるみんマーク、えるぼし、ユースエール	以下のいずれか1つ以上を取得している。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定 ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定 ③若者雇用促進法に基づく認定	1点	1点	×1.0	
4.3 よこはまグッドバランス賞	よこはまグッドバランス賞の認定を取得している	1点	1点	×1.0	
4.4 障害者雇用	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.2%を達成している(従業員45.5人以上)、又は障害者を1人以上雇用している(従業員45.5人未満)	1点	1点	×1.0	
		<b>5点</b>	<b>5点</b>		
合 計		<b>95点</b>	<b>95点</b>		

委員会開催日時 及び開催場所	平成30年11月26日(月) 健康福祉局障害福祉部 大会議室					
主な発言内容	<p>○関内イノベーションイニシアティブ株式会社 障害者の就労啓発には障害者の社会参加を促すことの一市民の理解が重要であるが、未だ不足していると感じる。例えば障害者施設で作る商品の背景やストーリーを引き出し、それらをエンカル商品として紹介・販売する専用サイトを開設し、新しい消費の価値を発信し、社会的事業の認知とファンを広げていくことで市民の関心を引き出し、そこから気づきを得た人たちの次の行動を推し進めていきたい。それぞれのショップが発信基地となって、市内全域に波及していくようにしたい。</p> <p>○特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター 関内ショップを質の高い商品を集めた「エンカルフードショップ」、新市庁舎ショップを共生社会創出のための体験・交流ができる「プロダクトデザインショップ」として、誰もが使いやすい商品開発を交流の場で共に考え作り上げていくことで両ショップの連携を図っていきたい。障害者就労は同じ就労形態でなくとも、仕事が生きがい・喜びと感じ、成長とともにキャリアアップしていく、より選択性があることが重要。選択の幅を広げるための必要なノウハウやツールが常備され、誰でも参加する人がそれらを利用できるようなプラットフォームを両ショップを核として既存のネットワークと連携させながら構築し、市内各区にてその地域に即した色々な形のプラットフォームを作り上げていきたい。</p> <p>○ルーデンス株式会社 関内ショップと新市庁舎ショップの両ショップが何を指すのか、この場に愛着と感心を深めてもらうためにより多くの市民参加を図り、チームビルディングのなかからコンセプトを考えていきたい。学びと対話の機会を提供するコミュニティを形成することで、両ショップのファンコミュニティを3か年かけて構築していき、対話を通じたこのコミュニティを地域ネットワークとして持続させていけるよう、きっかけを作りたい。</p>					
評価委員出席状況 「○」出席・「×」欠席	委員長 (健康福祉局 企画課長)	副委員長 (健康福祉局 障害企画課長)	総務局管理課 新市庁舎整備 担当課長	市民局 市民活動支援課 担当係長	中区 高齢・障害支援 課	出席者数
事務局	健康福祉局障害企画課就労支援係長、就労支援係職員2名					